

流石山 1822m

(栃木県連 40 周年 40 座記念登山)

【山行日】2015年7月11日(土曜日)

【集合・出発】小山市役所駐車場 5:00 出発

【メンバー】CL 仙石、大町、梶内、清水ケ、福村ア、福村ト、前沢、山田、横田

【コースタイム】

小山市役所 5:00=栃木 IC=白河 IC=甲子トンネル=観音沼=ヨロイ沢手前駐車スペース 7:30~50——鏡沼分岐 8:20——大峠 9:00~10——流石山三角点 10:33——流石山 1822m 10:40——流石山三角点 10:50~11:37——大峠 12:50~13:00——駐車スペース 14:00~14:10=小山 17:10

今回は栃木県勤労者山岳連盟創立 40 周年記念行事の取り組みの一つである県内 40 座の記念山行として実施しました。梅雨時ゆえお天気が気になりましたが、前日までとうって変わって梅雨間の晴天、青空に恵まれ、咲き誇るニッコウキスゲを堪能してきました。

流石山は 10 年位ぶり、甲子トンネルが開通して時間短縮されている。トンネルを越えて道の駅により、その先の大カーブのところで観音沼へ出る林道に入ると大鹿沼山を回り込んで観音沼の脇を通過する。観音沼からは道が細くなり、林道になる。舗装が切れて砂利道を少し行った



ヨロイ沢の手前の路肩の駐車スペースを見つけて車を置く。林道の終点 1.5km ほど手前だ。その先も路肩にいっぱい車、車である。早めの駐車で正解かもしれない。

この大峠を越える道は、松川街道と言うらしく会津へ抜ける古い街道とのこと。戊辰戦争のりには幕軍の大鳥啓介や官軍の板垣退助らもこの街道から会津、奥羽各藩に侵攻したとか。一里塚跡や街道の石畳が残る。大峠には、赤い帽子をかぶったお地蔵さんが数体安置されている。

大峠からは青空へ続く笹と灌木の緑の稜線を急登する。ニッコウキスゲの黄色が今を盛り、いっぱいだ。例年より 1 週間ほど早いかもしれない。登るにつれて那須の連山の形がはっきりとしてくる。右から白笹、南月山、茶臼、朝日、隠居倉、三本槍が岳、旭、甲子・・・。



急登に次ぐ、急登、何回も偽ピークにだまされる。でも、ニッコウキスゲやハクサンフウロ、アザミ等々お花たちに励まされ、青空へ続く道を辿り稜線へ。緩やかになった稜線の先に、目指す流石の緩やかなピーク、そしてさらに大倉山、三倉山に向かう国境の稜線が続いている。

流石山 1813m の三角点、その先の最高点が 1822m だ。1822m から戻り、三角点の小さな広場でランチタイム。いつもの通り、煮物、漬物・・・、ごちそうが行き交う。

下山は要注意だ。我々年寄り集団は登りより、下りの方が何倍もリスクだ。焦らずゆっくり。若者だったら、とんとんとんとんと超スピードで下るところだが、そんなことしたら、絶対こける。ゆっくり、ゆっくり、もう一回、ニッコウキス

ゲに見惚れる。



古い街道、一里塚跡



大峠のお地藏様



ハクサンフウロ



コバイケイソウ



ハクサンシャクナゲ



登り終えてリラックス